

「白山市デジタル田園都市構想総合戦略（案）」に対するご意見と市の考え方について

募集期間：令和7年2月3日(月)～2月17日(月)

結 果：2名の方から4件の意見

パブリックコメントに寄せられた計画案へのご意見・ご要望と、それに対する市の考え方は以下のとおりです。

ご意見・ご要望	市の考え方
IRいしかわ鉄道の西金沢駅と北鉄の新西金沢駅乗り換えの利便性を上げるため、乗り継ぎ共通定期を導入してほしい。	いただいたご意見については、今後の参考とさせていただきます。
しらやまさん等の観光資源がある鶴来駅舎をもう少し使いやすくしてほしい。 現在の駅舎では駅舎の裏手に増えている新しい住宅地側の出入口がない。かなり離れた場所に陸橋があるが、遠回りで高齢者や障がい者、冬季間はほとんど使われないのではないかな。 鶴来支所側と鶴来大国町側、両側から出入り可能な駅舎にしてほしい。	鶴来駅の西側からのアクセス向上は、石川県、沿線3市1町及び北陸鉄道(株)が共同で策定した別の計画(北陸鉄道線鉄道事業再構築実施計画)において中長期的に調査・検討する取組の一つとして明記しているため、本市単独の計画である戦略案には記述を設けていないものです。
基本目標達成のための「デジタルの力の活用」において、現状の「データ活用基盤整備状況」の詳しい記載を入れていただきたい。 原案の基本目標達成には「デジタルの力の活用」を中心に行っていることから、白山市が何を「デジタル」として定義をしているのか、定義における「デジタル」の整備状況を数値によって把握しているのかという点を示し、これから目標達成に必要な分量・質を確定させられる。	戦略案では、各種の取組内容においてデジタルの活用を見据える全体構成をとっているため、個別の記述を設けていないものです。 いただいたご意見については、今後の参考とさせていただきます。
将来に向けたデータ連携基盤及び民間によるデータ活用の基礎となる「オープンデータ」の推進体制と質向上のプロセスについて記載を入れていただきたい。 国における「デジタル田園都市国家構想」では現状、白山市はいわゆるTYPE1の取り組みを実施中であり、今後はTYPE2、3へと次元を上げるためにもオープンデータを民間レベルで活用を推進していくことが通過点である。 また、デジタル庁における「自治体標準オープンデータセット」に沿って白山市が「いしかわオープンデータカタログ」への掲載を行っていることを、より周知することを中心に、オープンデータにおける今後の展望(例としてファイル形式によるオープンデータレベルの高度化など)を明確に示すことも民間がオープンデータ活用の参入基準となる。	オープンデータの推進については、白山市ホームページでの情報提供のほか、ご指摘のあったいしかわオープンデータカタログなどの外部サイトを活用する体制を構築しております。 こうした状況を踏まえ、オープンデータの推進に関する記述を取組内容として追加することといたします。